

大後悔

シリーズ～詩編～

2015/8/23



詩編51篇

【指揮者によつて。賛歌。ダビデの詩。ダビデがバト・シエバと通じたので預言者ナタンがダビデのもとに来たとき。】
神よ、わたしを憐れんでください
御慈しみをもつて。

深い御憐れみをもつて
背きの罪をぬぐつてください。
わたしの咎をことごとく洗い
罪から清めてください。

あなたに背いたことをわたしは
知つています。わたしの罪は常に
わたしの前に置かれています。
あなたに、あなたのみになわたしは
罪を犯し／御目に悪事と見られ
ることをしました。

あなたの言われることは正しくあ
なたの裁きに誤りはありません。

詩編51篇

わたしは咎のうちに産み落とされ
母がわたしを身ごもったときも
わたしは罪のうちにあつたのです。
あなたは秘儀ではなくまことを望
み

秘術を排して知恵を悟らせてく
ださいます。

ヒソプの枝でわたしの罪を払つて
ください

わたしが清くなるように。わたし
を洗つてください

雪よりも白くなるように。

喜び祝う声を聞かせてください
あなたによつて砕かれたこの骨が
喜び躍るように。

わたしの罪に御顔を向けず
咎をことごとくぬぐってください。

詩編51篇

神よ、

わたしの内に清い心を創造し

新しく確かな霊を

授けてください。

御前からわたしを退けず

あなたの聖なる霊を

取り上げないでください。

御救いの喜びを

再びわたしに味わわせ

自由の霊によつて支えてください。

わたしはあなたの道を教えます

あなたに背いている者に

罪人が御もとに立ち帰るように。

神よ、わたしの救いの神よ

詩編51篇

流血の災いからわたしを救い出してください。

恵みの御業をこの舌は喜び歌います。

主よ、

わたしの唇を開いてください

この口はあなたの賛美を歌います

もしいけにえがあなたに喜ばれ
焼き尽くす献げ物が御旨にかな
うのなら／わたしはそれをささ
げます。

しかし、神の求めるいけにえは
打ち砕かれた霊。

打ち砕かれ悔いる心を

神よ、あなたは侮られません。

ダビデの犯した罪(十戒に照らして)

十戒	ダビデ
殺してはならない	ウリヤ殺害
姦淫してはならない	ウリヤの妻との姦淫
盗んではならない	バト・シェバを強奪
偽証してはならない	敗北の原因
隣人の家を欲してはならない	ウリヤの妻であることを知りながら欲す

主なる神の憐れみにすがる

神よ、わたしを憐れんでください御慈しみをもつて。
深い御憐れみをもつて
背きの罪をぬぐってください。
わたしの咎をことごとく洗い
罪から清めてください。

- 「憐れんで下さい」
 - 罪人の希望は神の憐れみにある
- 「御慈しみ」「深い御憐れみ」
 - 「憐れみ」は母の胎を意味する言葉
- 罪によって汚れきってしまった
 - ぬぐって・洗い・清めて下さい
- この汚れ取り除けるのは神だけ
 - 自分の方ではどうしようもない

神との関係の崩壊

- 神とダビデの親密さ
 - 「あなた」×47回 「わたし」×38回
- 罪を神に対する反逆と自覚する
 - 「あなたに背いた」「わたしの前に置かれています」「あなたに、あなたのみで罪を犯し」
 - ウリヤに対する謝罪は？
- 善悪の判断は神がされること
 - 「御目に悪事と見られる」

あなたに背いたことをわたしは知っています。
わたしの罪は常にわたしの前に置かれています
あなたに、あなたのみでわたしは罪を犯し
御目に悪事と見られることをしました。
あなたの言われることは正しくあなたの裁きに
誤りはありません。

生まれつきの罪人

- **自分は罪を持って生まれた**
 - 自らの「無垢」を誇っていたのは高ぶりであった
 - ルターやカルヴィンは「原罪論」根拠とする
- 「秘儀」や「秘術」ではなく
 - 怪しげな儀式によって心は整わない
 - 神からくる「まこと」と「知恵」が必要

わたしは咎のうちに産み落とされ母がわたしを身ごもったときも

わたしは罪のうちにあつたのです。

あなたは秘儀ではなくまことを望み

秘術を排して知恵を悟らせてくださいます。

神による回復を切望する

- ヒソプの枝で罪を払ってください
 - “ヒソプ”はきよめの儀式で用いる植物
- 汚れきった自分にいたたまれない
 - 「雪よりも白くなるように」
- 神を「喜び祝う声」を聞きたい
 - 神の箱をエルサレムに運び上った日のような
 - 自責の念に苛まれ、骨まで砕けてしまった

ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください
わたしが清くなるように。わたしを洗ってください
雪よりも白くなるように。
喜び祝う声を聞かせてください
あなたによつて砕かれたこの骨が喜び躍るように。
わたしの罪に御顔を向けず
咎をことごとくぬぐってください。

清い霊の再創造

- 洗淨でも回復でもなく「創造」
 - 「創造し」は創世記1:1と同じ言葉
- 神から再び頂くしかない
 - 「新しく確かな霊を授けてください」
- 最も恐れていること
 - 御前から退けられること
- 神による救いと自由への希望
 - 最終的な実現は十字架に!

神よ、わたしの内に清い心を創造し
新しく確かな霊を授けてください。
御前からわたしを退けず
あなたの聖なる霊を取り上げないでください。
御救いの喜びを再びわたしに味わわせ
自由の霊によって支えてください。

大後悔

- 神との関係の崩壊
 - 罪を,神と自分の関係の問題と自覚している
 - 日本人には決定的に欠落している感覚
- 神の前に汚れきってしまった苦しみ
 - 洗い清めて頂かなければならない
 - 日本人と似た感覚
- 新たな清い霊を作って頂くしかない
 - 徹底的に汚れているので洗淨では無理である
 - キリストの死と復活によって実現する